

第 63 回 日本脂質生化学会プログラム

第 1 日午前 第 1 会場

一般講演

1-01~1-03 10:00-10:40

座長 長竹 貴広(医薬健栄研)、戸田 圭祐(岡山県大)

1-01 ロイコトリエン B₄-BLT1 軸は Fc γ 受容体依存的に腎炎急性期の好中球浸潤を制御する

10:00 ¹順天堂大学・生化学第一講座, ²順天堂大学・腎臓内科学講座

P 28 ○塩田 遼太郎^{1,2}, 城 愛理¹, 奥野 利明¹, 鈴木 祐介², 横溝 岳彦¹

1-02 5,6-DiHETE は DSS 誘発性腸炎モデルマウスの症状の回復を促進する

10:10 東大・農・放射線動物科学

P 30 ○竹ノ内晋也、小林幸司、芦名功平、中村達朗、永田奈々恵、村田幸久

1-03 15-hydroxy eicosadienoic acid は鼻炎を増悪させる新規生理活性脂質である

10:25 東大・農・放射線動物

P 32 宮田佳奈、堀上大貴、橘侑里、山本晃子、中村達朗、○村田幸久

10:40-10:50 休憩

一般講演

1-04~1-07 10:50-11:50

座長 古賀 友紹(熊大)、稲住 知明(熊大)

- 1-04 非アルコール性脂肪性肝炎の進展に寄与する 12-リポキシゲナーゼの解明
10:50 ¹岡山県大・栄養、²川崎医大・分子遺伝医、³川崎医福大・臨床栄養
P 34 ○戸田圭祐¹、森香子^{1,2}、川上祐生¹、神崎圭太^{1,3}、玉井玲名¹、田中龍舞¹、津嘉山泉¹、
山本登志子¹、川上貴代¹、高橋吉孝¹
- 1-05 ツノナシオキアミ(*E. pacifica*)からの新規 R 型リポキシゲナーゼの同定
11:05 ¹帝科大・生命環境、²岩手生工研、³愛媛大・院・農、⁴備前化成株
P 36 ○山田秀俊¹、結城彩花²、植村亜衣子²、箱崎真友佳²、矢野明²、安部真人³、三澤嘉久⁴、
馬場直道⁴
- 1-06 出血性膀胱炎におけるプロスタサイクリンの機能解析
11:20 ¹昭和大・薬・衛生薬学、²神奈川工科大学
P 39 ○落合翔¹、佐々木由香¹、横山知永子²、桑田浩¹、原俊太郎¹
- 1-07 Acetaminophen 誘発性肝障害における prostaglandin E₂ 量調節機構とその役割
11:35 近畿大・薬
P 41 ○横飛 暉斗、島田 紘明、吉川 幸加、川瀬 篤史、岩城 正宏

11:50-13:30 休憩

第1日午前 第2会場

一般講演

2-01~2-04 10:00-10:55

座長 伊集院 壮(神戸大)、金丸 佳織(東京理科大)

2-01 ホスファチジルイノシトール 4,5-ニリン酸の変化が形質膜コレステロールに与える影響の解析

10:00 ¹東理大・理工・応用生物科学、²東薬大・生命科学・ゲノム病態医科学

P 44 ○金丸 佳織¹、古石 陸人¹、下澤 誠²、中村 由和¹、深見希代子²

2-02 クラス II-PI3 キナーゼによるエンドサイトーシス制御を介した血管平滑筋収縮調節機構

10:10 ¹金沢大学・医学系・血管分子生理学、²石川県立看護大・看護・健康科学

P 46 ○吉岡和晃¹、Shahidul Islam¹、安藝 翔¹、石丸和宏¹、多久和 典子^{1,2}、多久和 陽¹

2-03 ホスファチジルイノシトール-4 リン酸(PI4P)近傍タンパク質の解析

10:25 ¹東大院・薬、²東北大院・生命科学、³理研・バイオ解析、⁴東大院・医

P 49 ○倪 申玮¹、向井 康治朗²、鈴木 健裕³、堂前 直³、新井 洋由⁴、田口 友彦³、河野望¹、青木 淳賢¹

2-04 ホスホイノシタイドホスファターゼ INPP5K による酵素活性依存的な骨格筋内管状凝集体形成の制御とミオパチー病態解析

10:40 神戸大・院医・生化学

P 52 ○伊集院 壮

10:55-11:05 休憩

一般講演

2-05~2-07 11:05-11:45

座長 吉岡 和晃(金沢大)、堀端 康博(獨協医大)

2-05 スフィンゴミエリン合成酵素関連タンパク質はグリセロリン脂質をセラミド非依存的に加水分解する

11:05 ¹千葉大・院融合理工・化, ²東大・院薬・衛生化学

P 55 ○村上 千明^{1,2}, 坂根 郁夫¹

2-06 多価不飽和脂肪酸含有ホスファチジン酸は synaptojanin-1 と結合し、その D4-ホスファターゼ活性を亢進する

11:20 千葉大・院・融合理工・化

P 59 ○星野 史規、坂根郁夫

2-07 スフィンゴミエリン合成酵素(SMS)1 及び SMS 関連タンパク質とジアシルグリセロールキナーゼとの相互作用

11:35 ¹千葉大・院融合理工・化, ²東大・院薬・衛生化学

P 62 ○古田将崇¹, 村上千明^{1,2}, 沼上雄紀¹, 坂根郁夫¹

11:45-12:15 休憩

12:15-13:15 ランチョンセミナー1(L1)

13:15-13:30 休憩

第1日午前 第3会場

一般講演 3-01～3-03 10:30-11:00
座長 長田恭一(明大)、小関正博(阪大)

3-01 オキシステロール産生酵素(CYP46a1)の転写調節機構の解析
10:30 獨協医科大学・生化学¹、内科学内分泌代謝²、東北大学病院薬剤部³
P 88 ○篠原 安武^{1,2}、安戸 博美¹、堀端 康博¹、前川 正充³、杉本 博之¹

3-02 キサントフォームによるコレステロール酸化物の吸収制御とその効果
10:40 明治大・農・農芸化学
P 90 石川航也、○長田恭一

3-03 The Dietary 7-Ketocholesterol Induces Steatohepatitis and Cardiac Inflammation in STZ-Induced Diabetic Mice
10:50 ¹ Dept. of Cardiovascular Med., Osaka Univ. Grad. Sch. of Med., ; ² Div. of Health Sci., Dept. of Medical Physics and Engineering, Osaka Univ. Grad. Sch. of Med.; ³ Health and Counseling Center, Osaka Univ.; ⁴ Rinku General hospital
P 93 Jiuyang Chang¹, Masahiro Koseki^{1*}, Kotaro Kanno¹, Ayami Saga¹, Hiroyasu Inui¹, Takeshi Okada¹, Shigeyoshi Saito², Tomoaki Higo¹, Katsunao Tanaka¹, Masumi Asaji¹, Yinghong Zhu¹, Tohru Ohama¹, Makoto Nishida³, Shizuya Yamashita⁴, Yasushi Sakata¹

11:00-11:10 休憩

一般講演

3-04~3-06 11:10-11:50

座長 山下純(帝京大)

- 3-04 食餌由来 7-ketocholesterol はイミキモド誘導乾癬様皮膚炎を増悪させる
11:10 ¹ 阪大・院医・循環器内科学、² 阪大・院医・総合地域医療学、³ 阪大・院医・機能診断科学、
⁴ 阪大・キャンパスライフ健康支援センター、⁵ りんくう総合医療センター
- P 95 ○嵯峨礼美¹、小関正博¹、冠野昂太郎¹、常久洋¹、田中克尚¹、朝治真澄¹、岡田健志^{1,2}、鎌田佳宏³、乾洋勉¹、朱 穎竝¹、大濱透¹、西田誠^{1,4}、山下静也⁵、坂田泰史¹
- 3-05 健診受診者における血清 7-ketocholesterol 濃度と肝機能検査値の相関
11:20 ¹ 阪大・院医・循環器内科学、² 阪大・院医・保健学専攻、³ 阪大・キャンパスライフ健康支援センター、⁴ りんくう総合医療センター
- P 97 ○小関正博¹、鎌田佳宏²、冠野昂太郎¹、常久洋¹、嵯峨礼美¹、岡田健志¹、乾洋勉¹、大濱透¹、西田誠^{1,3}、三善英知²、山下静也⁴、坂田泰史¹
- 3-06 PGRMC1(Progesterone receptor membrane associated component 1)ノックダウンマウスにおける脂肪肝の検討
11:35 ¹ 阪大・院医・循環器内科学、² 阪大・院医・総合地域医療学、³ 慶医・医化学教室、⁴ 阪大・キャンパスライフ健康支援センター
- P 98 ○田中 克尚¹、小関 正博¹、嵯峨 礼美¹、朝治 真澄¹、常 久洋¹、乾 洋勉¹、冠野 昂太郎¹、朱 穎竝¹、岡田 健志^{1,2}、加部 泰明³、末松 誠³、大濱 透¹、西田 誠^{1,4}、坂田 泰史¹

11:50-13:30

休憩

第1日午後 第1会場

シンポジウム1 「新しい脂質メディエーターの潮流～山本尚三先生を偲ぶ～」

S1-1～S1-7 13:30-16:00

オーガナイザー: 山本 圭(徳島大)、宇山 徹(香川大)

- S1-1 生理活性脂質リゾプラズマローゲンの機能の解明
13:30 徳島大学
P 4 ○山本 圭
- S1-2 肺障害におけるリゾホスファチジン酸(LPA)の新たな機能の解明
13:50 東京大学
P 5 ○可野 邦行、青木 淳賢
- S1-3 プロスタグランジン受容体による脂質代謝調節の分子機構
14:10 熊本大学
P 6 ○稲住 知明、杉本 幸彦
- S1-4 LTB4/BLT1 経路による新規樹状細胞サブセットの機能制御
14:30 ¹熊本大学、²順天堂大学
P 7 ○古賀 友紹¹、横溝 岳彦²、中尾 光善¹
- 14:50 休憩
- S1-5 免疫・アレルギー・炎症を制御する高活性必須脂肪酸代謝物の新機能
15:00 医薬基盤・健康・栄養研究所ワクチン・アジュバント研究センター
P 8 ○長竹 貴広、國澤 純
- S1-6 スフィンゴリピドーシスにおける神経細胞死メカニズムの解明
15:20 徳島大学
P 9 ○辻 大輔
- S1-7 N-アシルエタノールアミンの生合成機構とその生理機能の解明
15:40 香川大学
P 10 ○宇山 徹、上田 夏生
- 16:00-16:30 休憩

特別講演

SS 16:30-17:20
座長 上田 夏生 (香川大学)

SS COOL STRUTTIN' オルガネラ間脂質輸送

16:30 国立感染症研究所

P 1 ○花田 賢太郎

17:20-17:30 休憩

17:30-18:00 総会

18:00 終了

第1日午後 第2会場

一般講演

2-8~2-10 13:30-14:15

座長 武富 芳隆(東大)、加藤 俊治(東北大)

2-08 セレン含有タンパク質セレノプロテインP発現変化とフェロトーシス耐性

13:30 東北大・院薬・代謝制御

P 65 名取萌花、市川貴之、堤 良平、外山喬士、○斎藤芳郎

2-09 脂肪酸ヒドロペルオキシドからのアクロレイン生成経路の推定

13:45 東北大・院農・機能分子解析

P 67 ○加藤俊治、仲川清隆

2-10 リソソームにおける脂質過酸化反応がフェロトーシス誘導を亢進する

14:00 ¹九大・院薬、²AMED-CREST

P 69 ○斎元祐真¹、日下部大樹¹、松岡悠太^{1,2}、山田健一^{1,2}

14:15-14:25 休憩

一般講演

2-11~2-14 14:25-15:25

座長 村上 千明(東大)、土谷 正樹(京大)

- 2-11 CDP-コリン経路における最終酵素 CPT1 と CEPT1 の細胞内局在とコリンリン脂質合成分子種の相違
14:25 獨医大・医・生化学
P 71 ○堀端康博、杉本博之
- 2-12 クリックケミストリーを駆使したフローサイトメトリー (click-FC) による生細胞内での脂質代謝動態の高速解析: 脂質制御遺伝子の探索に向けた CRISPR スクリーニングへの応用
14:40 ¹京大・工学・合成・生物化学, ²JST さきがけ, ³JST ERATO
P 74 ○土谷正樹^{1,2}、浜地格^{1,3}
- 2-13 脂質代謝酵素 PNPLA6 は網膜の恒常性の維持に関与する
14:55 ¹東京大・疾患セ・健康環境医工学, ²東京大・眼科, ³慶大・先端生命科学研究所, ⁴東京大・リポドミクス講座, ⁵AMED-CREST
P 80 ○小野喬^{1,2}、武富芳隆¹、曾我朋義³、徳岡涼美⁴、小田吉哉⁴、相原一²、村上誠^{1,5}
- 2-14 XIIA 型分泌性ホスホリパーゼ A2 は Th17 細胞の誘導を制御する
15:10 ¹東大・院医・疾患生命工学セ、²かずさ DNA 研・オミックス医科学、³AMED-CREST
P 83 ○望月茅可¹、武富芳隆¹、中嶋隆裕²、遠藤裕介²、村上誠^{1,3}
- 15:25 終了

第1日午後 第3会場

一般講演 3-07~3-10 13:30-14:20
座長 横山 紀子(順大)、竹松 弘(京大)

- 3-07 1 型糖尿病性腎症における糖脂質発現変化
13:30 ¹東北医薬大・分生研・機能病態分子学
P 100 ○新田昂大¹、狩野裕考¹、稲森啓一郎¹、鈴木明身¹、井ノ口仁一¹
- 3-08 酪酸による硫酸化糖脂質の産生促進作用
13:40 ¹信州大・医・代謝制御、²信州大・基盤研究・機器分析、³信州大・医・国際交流
P 102 ○中島岳郎¹、中田勉²、田中直樹^{1,3}
- 3-09 ヒト胚中心 B 細胞マーカーであるスフィンゴ糖脂質 CD77 は CD19 の N 型糖鎖付加を亢進させると共に B 細胞抗原受容体シグナル伝達を抑制する
13:50 京大・院医・人間健康¹、京大・院生命²、藤田医大・医療科学³
P 105 ○湯浅大史^{1,2,3}、濱野久美子²、関亮佑²、岡昌吾¹、内藤裕子^{2,3}、竹松弘^{1,2,3}
- 3-10 蛍光標識化糖脂質プローブを用いた細胞膜糖脂質の動態解析
14:05 ¹阪大・院理・化学、²阪大・院理・PRC、³情通研・未来 ICT、⁴東海大・工
P 108 ○樺山一哉^{1,2}、新井健太³、蟹江治⁴、蟹江善美⁴、深瀬浩一^{1,2}

14:20-14:30 休憩

一般講演

3-11~3-14 14:30-15:25

座長 樺山 一哉(阪大)、新田 昂大(東北医薬大)

3-11 病原性真菌類の免疫賦活化糖脂質およびその代謝酵素の同定と阻害剤の探索

14:30 ¹ 九大・院農・生物機能、² 川崎医大・病態代謝、³ 九大・院理・化学、⁴ 佐藤製薬

P 110 ○伊東 信¹、渡辺 昂^{1,2}、石橋 洋平¹、沖野 望¹、谷 元洋³、橋田 溪⁴

3-12 HL-60 細胞の分化及びアポトーシス誘導機構における PtdGlc 膜マイクロドメインの関与

14:45 ¹ 順天堂大・院医・環境医学研究所、² 山梨大・院総・生化学、³ 理研・佐甲細胞情報研、⁴ 順天堂大・院医看・感染制御看護学

P 112 ○横山 紀子¹、金 然正²、平林 義雄^{1,3}、岩渕 和久^{1,4}

3-13 The mechanism and function of UGGT-mediated biosynthesis of phosphatidylglucoside, a lipid component associated with hypoxic stress

14:55 ¹ 理研・脳神経科学研究センター・神経細胞動態研究チーム、² かずさ DNA 研究所・生体分子解析グループ、³ 理研・開拓研究本部

P 114 ○洪慧馨¹、池田和貴²、上口裕之¹、平林義雄³

3-14 MAIT 細胞の新規生体由来リガンドの探索

15:10 ¹ 阪大・微研・分子免疫制御、² 阪大・IFReC、³ 京大・院薬・ケモゲノミクス・薬品有機製造、⁴ 九大・生医研・メタボロミクス

P 117 ○伊東瑛美^{1,2}、井貫晋輔³、和泉自泰⁴、高橋政友⁴、石川絵里^{1,2}、馬場健史⁴、山崎晶^{1,2}

15:25 終了

第2日午前 第1会場

シンポジウム2 「脂質生化学とビタミン学の接点」

S2-1～S2-7 9:00-11:45

オーガナイザー: 今井 浩孝(北里大)、市 育代(お茶の水女子大)

9:00 はじめに: 今井 浩孝(北里大)

S2-1 GPx4とビタミン E による脂質酸化制御を介した生体応答機構

9:02 北里大

P 12 ○今井浩孝

S2-2 脂質やビタミンEの酸化物の解析とその意義

9:23 東北大

P 13 ○仲川清隆

S2-3 α -Tocopherol は 67kDa ラミニン受容体への結合を介してジアシルグリセロールキナーゼ α を活性化する

9:45 神戸大

P 14 ○白井康仁、林大輝

S2-4 ビタミン K の生体内変換から見える新たなビタミン K の役割

10:07 神戸学院大

P 15 ○中川公恵

10:29 休憩

S2-5 ゲノム編集法により作製したビタミン D 関連遺伝子改変ラットを用いたビタミン D 作用メカニズムの解明

10:39 富山県立大

P 16 ○榊利之、西川美宇、安田佳織、生城真一

S2-6 多価不飽和脂肪酸欠乏による代償的な脂質代謝の制御

11:01 お茶の水女子大

P 17 ○市育代

S2-7 多価不飽和脂肪酸の代謝を介した脂質過酸化の制御と C 型肝炎ウイルス複製

11:23 東京都医学総合研究所

P 18 ○山根大典

11:45-13:30 休憩

第2日午前 第2会場

一般講演

2-15~2-18 9:30-10:20

座長 濱 弘太郎(帝京大)、宮田 暖(九大)

2-15 精巢 Leydig 細胞内のテストステロン含有小胞に PLA1 酵素 PLRP2 とリン脂質 OPPC が局在する

09:30 高知大・医・生化学

P 146 ○久下英明、井上幹造、本家孝一

2-16 エライジン酸が結合したリン脂質による細胞膜への Akt 集積抑制

09:40 ¹帝京大・薬・病態生理学、²帝京大・薬・物理薬剤学、³昭和大学・薬・生物化学

P 148 ○石橋賢一¹、松田英里香¹、矢野彩緒里¹、川村拓己¹、濱弘太郎²、横山和明²、板部洋之³、厚味巖一¹

2-17 Endophilin A2 による生体膜リン脂質中の多価不飽和脂肪酸の認識

09:55 ¹東大・院薬・衛生化学、²東北大・院生命科学・細胞小器官疾患学、³奈良先端科学技術大学院大学・分子医学細胞生物学、⁴東大・院医・疾患生命工学セ・健康環境医工学、⁵AMED-LEAP

P 150 ○石野雄己¹、齊藤友理¹、向井康治朗²、末次志郎³、田口友彦²、新井洋由⁴、青木淳賢^{1,5}

2-18 極長鎖脂肪酸を含有するリン脂質の産生機構の解析

10:05 ¹帝京大・薬、²岐阜大・科学研究基盤センター・ゲノム研究分野

P 153 ○濱弘太郎¹、藤原優子¹、林康広¹、山下純¹、下澤伸行²、横山和明¹

10:20-10:30 休憩

一般講演

2-19~2-23 10:30-11:35

座長 石橋 賢一(帝京大)、久下 英明(高知大)

2-19 精巢特異的リン脂質 tetrapalmitoyl cardiolipin (TPCL) 合成経路の解析

10:30 ¹: 東大・院薬・衛生化学、²: AMED-CREST、³: AMED-LEAP

P 155 ○小川笑満里¹、赤木聡介¹、河野望^{1,2}、青木淳賢^{1,3}

2-20 PGC-1 α による骨格筋カルジオリピン (CL72:8) 生合成促進機序

10:45 ¹静岡県大院・食品栄養科学、²東京大院・薬学系研究科、³京都府大・生命環境科学

P 157 ○桑原菜緒¹、馬込千帆¹、妹尾奈波¹、守田昭仁¹、河野望²、亀井康富³、三浦進司¹

2-21 ミトコンドリア由来ホスファチジルエタノールアミンによる静止期細胞分化制御

10:55 九大・院理・化学

P 160 ○宮田暖、伊藤貴紀、久下理

2-22 PE 生合成を担う PS 脱炭酸酵素の構造機能解析

11:10 山形大・理

P 165 ○渡邊康紀

2-23 α -シヌクレインの凝集体形成を抑制する神経機能性リン脂質に関する研究

11:25 長崎大 院薬 創薬薬理

P 168 ○唐木 達哉、塚原 完

11:35-12:15 休憩

12:15-13:15 ランチョンセミナー2(L2)

13:15-13:30 休憩

第2日午前 第3会場

一般講演

3-15~3-18 9:30-10:30

座長 佐々 貴之(北大)、平林 哲也(医学研)

3-15 Entamoeba シスト形成に伴う膜の透過性の低下に関与する超長鎖ジヒドロセラミドの解析
09:30 ¹ 佐大・医・免疫学、² 理研・IMS・メタボローム、³ かずさ DNA 研・生体分子解析、⁴ 横市大
院・生命医・代謝エピゲノム、⁵ 理研・CSRS・メタボローム情報、⁶ 慶大・薬・代謝生理化学
P 196 ○見市文香¹、池田和貴^{2,3}、津川裕司^{2,4,5}、Sharmina Deloer¹、吉田裕樹¹、有田誠^{2,4,6}

3-16 キラル HPLC による生合成 3-ケトジヒドロスフィンゴシンの立体解析法の開発と代謝産物
解析
09:45 ¹ 北大院・生命科学、² 北大院・先端生命、³ 大阪医薬大・医
P 198 ○本田 拓巳¹、村井 勇太²、生城 浩子³、矢野 貴人²、門出 健次²

3-17 皮膚バリア脂質アシルセラミド／結合型セラミドの口腔および食道の粘膜上皮における
存在と機能
10:00 北大・院薬・生化学
P 201 ○佐々貴之、木原章雄

3-18 スフィンガジエン含有スフィンゴ脂質の生合成と代謝機構の解明
10:15 北大・院薬・生化学
P 203 ○城島啓佑、澤井恵、木原章雄

10:30-10:40 休憩

一般講演

3-19～3-22 10:40-11:40

座長 後藤 麻子(感染研)、林 康広(帝京大)

3-19 高浸透圧ストレスはセラミド輸送タンパク質 CERT のリン酸化および CERT 非依存的なスフィンゴミエリン合成を共誘導する

10:40 国立感染症研究所・細胞化学

P 206 ○島崎 健太郎、熊谷 圭悟、花田 賢太郎

3-20 CERT の多重リン酸化依存的な機能抑制における塩基性アミノ酸クラスターの役割

10:55 国立感染研・細胞化学部

P 208 ○後藤麻子、江川大地、富重斉生、熊谷圭悟、花田賢太郎

3-21 細胞内脂肪滴形機構における小胞出芽制御因子 Sar1 の影響

11:10 昭和大・薬・生物化学

P 211 ○牧山 智彦、小濱 孝士、板部 洋之

3-22 新型コロナウイルスの感染効率は宿主細胞のスフィンゴイド塩基の質に影響する

11:25 ¹ 帝京大学・薬、² 国立国際医療研究センター、³ 東京大学医科学研究所・アジア感染症研究拠点、⁴ 東京大学・特命教授室

P 214 ○林 康広¹、土屋 亮人²、山本 瑞生³、佐々木 洋子¹、谷川 和也¹、濱 弘太郎¹、上田 裕介¹、合田 仁³、前田 賢次²、井上 純一郎⁴、山下 純¹

11:40-13:30 休憩

第2日午後 第1会場

一般講演

1-08~1-12 13:30-14:25

座長 中村 元直(岡山理科大)、小濱 孝士(昭和大)

- 1-08 奇数鎖脂肪酸による分裂酵母の脂質代謝攪乱と細胞分裂阻害
13:30 ¹ 東大院農・応生工、² 東大・微生物連携機構、³ 理研 CSRS・ケミカルゲノミクス、⁴ 理研 CSRS・分子リガンド標的、⁵ トロント大・ドネリーセンター、⁶ 理研 IMS・メタボローム、⁷ 理研 CSRS・メタボローム情報、⁸ 横浜市大院生命医・代謝エピゲノム科学、⁹ 慶大薬・代謝生理化学、¹⁰ 理研 CSRS・創薬シード
- P 120 ○星川陽次郎¹、西村慎一^{1,2}、松山晃久^{1,3}、Sheena Li^{4,5}、八代田陽子^{3,4}、Charles Boone^{4,5}、津川裕司^{6,7,8}、有田誠^{6,8,9}、吉田稔^{1,2,3,10}
- 1-09 Uptake and metabolism of very-long-chain fatty acid in animal cells
13:40 ¹Grad. Sch. Biomed. Sci., Tokushima Univ., ²Grad. Sch. Technol.Industrial and Soc. Sci., Tokushima Univ.
- P 122 ○Hanif Ali¹, Katsuya Morito¹, Rumana Yesmin Hasi², Mutsumi Aihara², Junji Hayashi², Ryushi Kawakami², Kaori Kanemaru², Koichiro Tsuchiya¹ and Tamotsu Tanaka²
- 1-10 血球系細胞に発現する²つの短鎖脂肪酸受容体の特徴について
13:50 ¹岡山理科大学大学院 理学研究科 臨床生命科学専攻 細胞情報学、²東京大学先端科学技術研究センター、³医薬基盤研究所 ワクチン・アジュバント研究センター
- P 125 ○宮里 奏佑¹、武良 麗華¹、中村 聖²、河原 正浩³、山口 哲志²、中村 元直¹、
- 1-11 THP-1細胞由来マクロファージにおけるインターロイキン(IL)-4/IL-13刺激によるSTAT6リン酸化に対するスフィンゴシン 1-リン酸 2型受容体の役割
14:00 川崎医大・薬理学
- P 128 ○岡本安雄、北風圭介、竹之内康広、山本慎也、坪井一人
- 1-12 褐色脂肪組織におけるスフィンゴシンキナーゼ 1 の機能解析
14:10 ¹ 金沢大・医学系・細胞分子機能学、² 金沢大・医学系・血管分子生理学、³ 徳島大・院社会産業理工・食料科学
- P 130 ○盛重 純一¹、吉岡 和晃²、田中 保³、多久和 陽²、安藤 仁¹

14:25-14:35 休憩

一般講演

1-13~1-17 14:35-15:35

座長 盛重 純一(金沢大)、坪井 一人(川崎医大)

- 1-13 好中球細胞外トラップ形成における lysoPC の関与
14:35 昭和大・薬・生物化学
P 133 ○小濱孝士、澤田直子、牧山智彦、板部洋之
- 1-14 変形性関節症における 2-カルバ環状ホスファチジン酸(2ccPA)の治療効果に関する基礎研究
14:50 ¹長崎大学・院薬・創薬薬理学、²SANSHO 株式会社
P 136 ○吉井雅起¹、今村茂行²、新井かおり²、塚原 完¹
- 1-15 N-アシルエタノールアミン生合成における cPLA₂ ファミリーの関与
15:00 ¹香川大学 医学部 生化学、²香川大学 医学部 歯科口腔外科学、³川崎医科大学 薬理学
P 138 ○Yiman Guo^{1,2}、宇山 徹¹、S. M. Khaledur Rahman¹、Mohammad Mamun Sikder¹、Zahir Hussain¹、坪井一人³、三宅 実²、上田夏生¹
- 1-16 Effects of stress on brain 2-arachidonoylglycerol and prostaglandins in wild type mice
15:10 ¹Depart. of Cellular and Mol. Anat., Hamamatsu Univ. Sch. of Med.; ²International Mass Imaging Center, Hamamatsu Univ. Sch. of Med.; ³Depart. of Systems Mol. Anat., Institute for Medical Photonics Res, Preeminent Medical Photonics Edu. & Res Center.
P 140 ○Ariful Islam¹、Qing Zhai¹、Jing Yan¹、Md. Mahamodun Nabi¹、Md. Al Mamun¹、Kenji Kikushima¹、Tomoaki Kahyo¹、and Mitsutoshi Setou^{1,2,3}
- 1-17 ヒトとウシの乳汁中脂質プロファイル比較
15:20 ¹岡山県大・栄養、²岡山県大・看護、³東大・院医・疾病生命工学センター、⁴徳島大院・社会産業理工・生物資源産業
P 142 ○長崎 祐樹¹、川井 恵梨佳¹、丸岡 紗也¹、大角 美穂¹、津嘉山 泉¹、川上 祐生¹、高橋 吉孝¹、岡崎 愉加²、三木 寿美³、山本 圭⁴、村上 誠³、山本 登志子¹
- 15:35 終了

第2日午後 第2会場

一般講演

2-24~2-27 13:30-14:30

座長 門出 健次(北大)、山田 健一(九大)

2-24 PC および PE をモチーフとした頭部改変型リン脂質のアナログ合成

13:30 ¹愛媛大・農・生命機能、備前化成株

P 171 ○安部真人¹、渡辺麻友美¹、三澤嘉久²、馬場直道²

2-25 高度不飽和脂肪酸結合型リン脂質の全合成

13:45 ¹愛媛大・院農・生命機能、備前化成株

P 173 ○多田大輝¹、三澤嘉久²、馬場直道²、安部真人¹

2-26 新奇グリオキシル脂質の構造決定を目指したミックスドアセタールの合成研究

14:00 ¹愛媛大・院農・生命機能、九大・院農・生命機能

P 175 ○田中遼太郎¹、石橋洋平²、伊東信²、安部真人¹

2-27 ケミカルプロテオミクスを用いた抗がん活性を有する細菌由来ポリケタイドの標的同定

14:15 ¹理研 IMS・メタボローム研究チーム、²UC Berkeley, Dept. of Nutritional Sci. & Toxicology、

³慶大院薬・代謝生理化学、⁴横浜市大院生命医科学・代謝エピゲノム科学

P 177 ○磯部洋輔^{1,3,4}、Daniel K. Nomura²、有田誠^{1,3,4}

14:30-14:40 休憩

一般講演

2-28~2-31 14:40-15:35

座長 磯部 洋輔(理研)、可野 邦行(東大)

- 2-28 二重結合の位置異性体を見極めるノンターゲットリポドミクス解析システムの開発と応用
14:40 ¹慶應大・薬・代謝生理化学, ²理研・IMS・メタボローム, ³CSRS・メタボローム情報, ⁴横市
大院・生命医・代謝エピゲノム, ⁵島津製作所・田中耕一記念質量分析研究所
P 180 ○内野春希^{1,2}, 津川裕司^{2,3,4}, 高橋秀典⁵, 有田誠^{1,2,4}
- 2-29 ノンターゲットリポドミクスと 16SrRNA 解析による腸内細菌依存的な脂質代謝系の解明
14:55 ¹理研・IMS、²東大・院薬、³阪大・情報科学、⁴理研・CSRS、⁵横市大・生命医、⁶JSR・JKiC、
⁷かずさ・生体分子、⁸早稲田大・理工・先進、⁹慶應大・薬
P 184 ○安田柊^{1,2,*}、岡橋伸幸^{1,3}、津川裕司^{1,4,5}、上田政宏^{1,6}、緒方勇亮¹、池田和貴^{1,7}、須田
亙¹、新井洋由²、服部正平^{1,8}、有田誠^{1,5,9}
- 2-30 流れずり応力を負荷した血管内皮細胞のノンターゲットリポドミクス解析
15:05 ¹横市大院・生命医・代謝エピゲノム、²理研・IMS・メタボローム、³東大大院・医・システム
生理学、⁴かずさDNA研・生体分子解析、⁵慶應大・薬・代謝生理化学
P 186 ○平田剛之^{1,2}、山本希美子³、池田和貴^{2,4}、有田誠^{1,2,5}
- 2-31 焼きのり由来成分が食事脂質吸収に及ぼす影響
15:20 ¹熊県大・環境共生・食、²佐賀県工技・食工
P 191 ○友寄博子¹、嶋田浩美¹、柘植圭介²、外村彩夏¹
- 15:35 終了

第 2 日午後 第 3 会場

一般講演

3-23~3-25 13:30-14:10

座長 木村 泰久(京大)、石橋 洋平(九大)

3-23 悪性黒色腫における ACAT 阻害剤の抗がん剤としての応用

13:30 同志社大院・生命

P 216 ○岩田実姫、浦野泰臣、野口範子

3-24 ジアシルグリセロールではなくステロールを基質とする DGAT2 ホモログの発見と機能解析

13:40 ¹九大・院農・生物機能、²川崎医大・基礎医学、³宮大・農・生物環境

P 218 ○石橋 洋平¹、定光 翔平¹、深堀 義朝¹、渡辺 昂¹²、林雅 弘³、伊東 信¹、沖野 望¹

3-25 アシル基転移酵素 Awat1 および Awat2 が生み出すマイバム脂質多様性とドライアイ防止における役割

13:55 北大・院薬・生化学

P 220 ○澤井恵、木下航、大塚賢人、宮本政宗、佐々貴之、木原章雄

14:10-14:20 休憩

一般講演

3-26～3-29 14:20-15:20

座長 梅田 眞郷(京大)、岸本 拓磨(九大)

- 3-26 細胞膜ステロール活性化を制御する出芽酵母 Sfk1 および関連タンパク質の機能解析
14:20 北大・遺制研・分子間情報
P 223 ○岸本拓磨、賈 子木、田中一馬
- 3-27 コレステロール輸送体 ABCA1 欠損メダカの樹立とその表現型解析
14:35 ¹京大・院農・応用生命、²京大・院農・応用生物、³京大・アイセムス
P 225 ○二股良太¹、木下政人²、木岡紀幸^{1,3}、植田和光³
- 3-28 ABCA13 の異常によるコレステロール輸送障害は統合失調症を引き起こす
14:50 ¹京大・院農・応用生命 ²京大・アイセムス
P 227 中塔充宏¹、木岡紀幸¹、○植田和光²
- 3-29 ヒト ABCA1 の活性誘導とステロール構造の関連解析
15:05 ¹京大・院農・応用生命、²京大・iCeMSMed.
P 229 ○坂田和樹¹、木岡紀幸¹、植田和光²、木村泰久¹
- 15:20 終了